

1 単元 わたしの町はっけん

2 情報活用能力育成に関する目標

友達の発表の練習を見ることにより、より良い発表内容について考えることができる。

3 情報活用能力の高まりを検証する場面と方法

友達の発表の練習を見た感想、発表の練習の前と後にまとめた発表内容の変化から検証する。

4 情報活用能力の高まりにより期待される効果

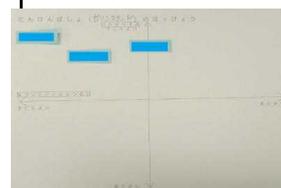
友達の発表内容を参考にして、より良い発表の仕方について知って取り入れることができる。

5 実践の様子

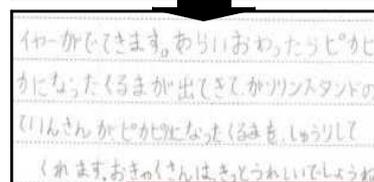
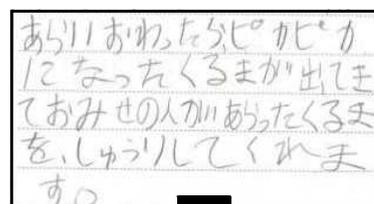
町探検後に探検場所で見つけた町の秘密についての「分かりやすいこと」「気付いたことを伝えていること」の二つを観点にして、写真を使った発表内容を考えてまとめた。そして、ペアの班を決めて4～6人ほどで発表内容を伝え合う発表の練習を行った。【資料1】その際に十字型の座標軸を使って、縦軸で「分かりやすさ」、横軸で「気付いたこと」の良さを検証し、付箋紙で一人ずつの発表内容の完成度を貼ってまとめた。【資料2】「商品の数が2000種類あるっていう所が分かりやすい」「写真に矢印が付いている、探検場所で気付いたことをしっかり伝えられている」など、友達の発表内容の良さについて考えることで、自分の発表内容をより良くするための参考にすることができた。「もっと機械の説明を分かりやすくする。」「説明を増やして分かりやすくする。」など、もっと自分の発表内容のどこを良くしたいかを観点に発表の練習を感想をまとめて、その感想を基にして良くしたい点を修正するようにした。【資料3】授業参観では、修正した発表内容を伝えることができ、保護者の方からも町の秘密についての発表内容の良さを認めてもらうことができた。



【資料1】発表の練習の様子



【資料2】十字型の座標軸



【資料3】発表内容の修正前と修正後

6 成果と課題

- 十字型の座標軸を使って友達の発表内容を整理しながら見ることによって、友達の発表内容の良さを見付けることができた。
- より良い発表内容について考えることによって、どの子どもも発表内容を修正しまとめることができた。
- 発表内容の良さを分析し、より具体的まとめられるようにする手だてがあると、もっと発表内容の良さを取り入れることができた。